

新年のごあいさつ

国病久原会の会員の皆さま、新年おめでとうございます。すこやかに新春をお迎えることとお慶び申し上げます。旧年中は長崎医療センターをご支援いただき、まことにありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症も3年目を迎えます。ワクチン接種の効果が大きいのでしょうか、今のところ落ち着いた状況です。昨年末から長崎医療センターでも3回目のワクチン接種が始まっています。しかし、新たに出現したオミクロン株の今後の流行次第では予断を許さない状況になるのではと心配しています。会員の皆様におかれても感染予防を引き続き徹底していただくようお願い致します。

さて昨年10月に当院は感染症指定医療機関の指定を受けました。7階B病棟に4床の感染症病床の整備も完了しました。感染症に強い病院としてハード面の強化を図っています。ただより重要なのは医療者の感染症に対する正確な知識、予防のためのスキルと心構えだと思っています。これらについては従来から病院一丸となって取り組んできていますが、さらに充実していく所存です。

コロナ以外の話題として、昨年末に電子カルテシステムを7年ぶりに更新することができました。電子カルテはもはや診療に欠かすことができないものとなっておりますが、導入から時間がたつと改善を必要とするところが目立つようになります。もう少し早く更新したかったのですが今回のタイミングとなりました。今回の更新にあたっては多くの方々が1年以上にわたって頑張ってくれました。

これから新型コロナの感染状況がどう推移するかは不透明なところが多いのですが、コロナ対応に万全を尽くす所存です。加えて通常の診療にも適切に対応できるように頑張っていります。皆様方のご理解とご支援を今後とも賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が会員の皆様にとって素晴らしい一年であることを願って、新年のごあいさつといたします。

令和4年新春

国病久原会顧問
国立病院機構長崎医療センター院長
江崎 宏典